



▲指揮に息をピッタリとあわせて吹奏する代表選手のみなさん
表彰式で賞状を受けとる指揮者の小柳部長▶

ラッパ吹奏の部で第3位入賞

第29回佐賀県消防操法大会

7月27日に佐賀県消防学校で県内各消防団が参加して消防操法大会が開かれ、多久市消防団がラッパ吹奏の部で堂々の3位入賞をはたしました。代表選手のみなさんは、5月の結団式以来、仕事を終えてからの夕方に集って、この日のために練習を重ねて、見事に成果を出されました。



また、今大会では、競技に先立って、10月の全国大会に佐賀県代表として出場する、多久市消防団代表メンバーによる自動車ポンプ操法の模範演技も、大勢の前で披露されました。

一旦停止・左右確認！で安全運転

第42回交通安全子ども自転車大会

7月26日に佐賀市の大和勤労者体育館を会場に、小学生の交通安全意識を目的とした「交通安全子ども自転車 佐賀県大会」が開かれ、多久市代表として西部小学校6年生の6人が、筆記テストと実技に挑戦しました。夏休みに入る前から学校で練習に励んできた選手たちで、惜しくも上位入賞は逃したものの、安全運転をしっかりと身につけました。友達や下級生にも教えてあげてくださいね。



▲「よろしくお願いします」と元気に実技に挑む代表選手



▲喜びの報告をされる柴田さん(右)と「やると言う心の力がすごいですね」とエールを贈る横尾市長

柴田健二さん 金メダルおめでとう!!

2008ジャパンパラリンピック水泳競技大会

7月20日、大阪府で開かれた2008ジャパンパラリンピック水泳競技大会の柴田健二さん(東多久町)が自由形100mと400m2種目に出場され、両種目で金メダルに輝かれました。記録は、100mが1分18秒、400mが6分24秒。中途視力障害者で全盲になられた後、水泳を生きがいとして取り組んで来られた柴田さんは、努力の積み重ねで、毎年のように入賞され、記録を残されています。県民プールで行う週3回の練習には1人で通い、1kgの重りを足に付け、記録を伸ばすハードトレーニングも取り入れ自己研鑽。柴田さんは「今年は練習のしすぎで出場直前に血圧が上がり、医者からドクターストップ。思うように練習できなかっただけに嬉しく、障害者日本選手権や一般の人と一緒に出場する県民大会も楽しみ。目標はオリンピック出場です」と、家族や関係者と共有する喜びや大きな夢も話されました。